

## 経済学専攻第二期入試 遠隔試験の実施について

2020年11月16日  
人間社会研究科経済学専攻

### 【遠隔試験の方法】

- (1) 遠隔試験は原則としてCisco Webexを用いた口述試験として実施します。Webexのアプリをダウンロードし、アカウントを設定しておいてください。
- (2) 口述試験中の通信環境や静かな環境の確保は出願者本人の責任で準備してください。なお、通信の不良により試験が中断した場合は、口述試験時間について公平になるよう配慮しますが、意図的な切断と判断される場合には不正行為とみなします。また、同室内に他者がいないようにしてください。いた場合は不正行為とみなします。
- (3) 口述試験は、研究テーマや研究計画等の適切性や研究遂行能力を問うもの（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、短期（1年）在学型選抜、学内推薦特別選抜）と、専門知識を問うもの（一般選抜、外国人留学生特別選抜のみ）を別々に実施します。専門知識を問う口述試験では、入学志願票の筆記試験選択科目欄に記入した専門科目について、募集要項に示す出題範囲に関するものを問います。
- (4) 口述試験の時間帯やWeb会議システムへの接続方法、事前の通信テスト等詳細については、出願後Eメール等で連絡します。見落とさないよう注意してください。

### 【注意事項】

- (1) 口述試験時には、出願書類以外のものの参照を認めません。文献資料・辞書類等のほか、通信機器による情報検索や他者からの情報入手も認めません。また、口述試験の録音・録画は禁止します。
- (2) 口述試験での出題内容（問われたこと、提示されたもの）について、合格発表まで一切の口外（メール、SNS等を含む）を禁止します。試験内容が漏洩されると、後の時間帯の受験者を利することになり、自らの不利となります。漏洩が発覚した場合、発信者・受信者ともに失格とします。

\*上記の指示に反する場合は失格とし、入学後に不正が判明した場合は入学取り消しとします。